

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスアップ			
○保護者評価実施期間		令和7年 2月 1日	～	令和7年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○従業者評価実施期間		令和7年 2月 1日	～	令和7年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日		令和7年 2月 25日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	規則正しい生活リズムの確立。	やるべきことをやるべきタイミングで行うという意識作りを徹底している。	事業所外でもその意識を浸透させていく。学校や自宅でもできることを増やしていく。
2	知育活動による情報処理能力の向上。	毎日必ず継続して行うことで、能力の向上だけでなく、自信の獲得にもつながっている。	それぞれのストレングスを活かして、活動を多様化させていく。
3	利用者一人ひとりへの手厚い支援体制。	事業所を選んでくれたこどもたちのために、よりよい支援を行えるように活動を日々ブラッシュアップしている。	他の事業所での取り組みを知ったり、協議会に参加する機会を作ったりして、支援の幅を広げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門的な支援に繋げることに時間がかかる。	利用者にあった専門職がいない。もしくは専門職に繋ぐ方法がわからないことがある。どの専門職に繋げばいいのか判断しかねることがある。	必要になった際に辿った道筋の確認、記録。また、周辺機関との連携をより密にすることで、専門職に繋げる道を多くつくる。
2	他の事業所との連携の更なる強化。	他の事業所との支援方法のすり合わせ、学校での支援方法のすり合わせが不十分であるケースがある。	普段から他の事業所とのやり取りをする機会を増やし、話をしやすい環境を作っていく。
3	支援者のスキルアップ。	より良い専門的な支援を提供するために、より多くの勉強をする機会を増やしていくべきだが、その時間が確保できていない。	細分化して、短い時間で行えるスキルアップのための学習方法を確立していく。

		公表 保護者等からの事業所評価の集計結果						
事業所名	放課後等デイサービスアップ		公表日 令和7年2月25日			利用児童数 9名		回収数 9名
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9						
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。		1		2		基準の配置数は満たしているが、更にこどもたちにとって良い環境になるように支援の質を上げていきたい。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9						
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9						
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	1					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9						
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9						
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	1					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	1	3		来年度以降他のこどもたちと交流する機会を作りたい。	
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9						
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	3		2		保護者参観を計画していた回数行えなかったので、来年度はより短い間隔で行えるようにしたい。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	8	1					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9						
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2		2		保護者参観を計画していた回数行えなかったので、来年度はより短い間隔で行えるようにしたい。	

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	1				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	1		2		事業所での活動をより多く発信できるようにSNSでの情報発信にも力を入れていきたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1		2		事業所での活動をより多く発信できるようにSNSでの情報発信にも力を入れていきたい。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	1				
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9					
	29	事業所の支援に満足していますか。	9					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスアップ				公表日 令和7年 2月 27日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		こどもたちと活動する職員を確保するために、送迎や事務にかかる職員を調整している。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		どこに何があるか、いつ何をするかが視覚的にわかるようになっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		ミーティングを行い、職員間で問題を共有してそれが意見を出し合い、よりよい支援体制を作ろうとしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		ミーティングを行い、職員間で問題を共有してよりよい支援につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		広く意見を求めるために、第三者評価の導入を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		研修を受けた後は、内容を全職員に共有し、全職員が同じ視線を持って支援に入ることができる体制を作ろうとしている。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		担当者会議を通して、よりよい支援計画になるよう多くの意見を求めている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		利用者の検査の結果を活動に取り入れて、支援の内容のブラッシュアップを図っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		やるべきことは毎日行いつつも、新しい試み・視点は絶えず導入し続けている。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		それぞれの役割を明確にして、やるべきことに臨める体制を作っている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>			
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		状況に応じて、モニタリング月以外にも話をする場を設けて、利用者のニーズの把握をしている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		普段から情報交換を密に行うことで、忌憚なく意見を出し合うことが出来ている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		送迎時の時間・場所の変更等にも抜けなく対応できている。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>			
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		支援の見える化を目指し、移行に向けた支援内容の引き継ぎの準備をしている。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		<input type="radio"/>		児童発達支援センターとの連携ができるよう体制を作っていく。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		<input type="radio"/>		公園での活動以外での課外活動を増やしていく。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		<input type="radio"/>		日程が合わずに参加できなかつたため、次回以降の日程を確認して参加していく。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>			
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>			保護者参観日を想定していたよりも行うこと出来なかつたので、来年はより短い間隔で行えるようにしたい。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		契約前に話をする機会、実際に事業所に足を運んでもらう機会を作り、雰囲気を知っている。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		保護者との連絡は密に行っており、困り事があった場合は、すぐに対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>			保護者参観日を想定していたよりも行うことが出来なかったので、来年はより短い間隔で行えるようにしたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		月報は好評であったため、来年度以降も継続して作成していく。	SNSによる情報発信にも力を入れていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>		地域住民が参加できる行事を計画できていないので、来年度以降検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		机上訓練だけでなく、実際にロールプレイを行って、非常時に対応できる体制を作っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハットで出た事例は都度ミーティングで共有し、振り返ることでよりよい支援につなげている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>			